

小学6年1組 家庭科学習指導案

指導者 竹吉 昭人

調理実習で必要な食材の購入を通して、これまでの商品選択の実態をもとに、買い物の視点を学級全体で話し合うことは、子どもたちがよりよい買い物をするための視点を広げ、買い物の工夫の工夫を考え深めることに有効であったか。

1 題材名 上手な買い物の仕方を考えよう

2 授業の構想

(1) 修学旅行のおこづかい計画を立て、「お金の使い方を考えよう」の学習で、金銭の大切さ、限りあるお金を有効に使うための計画の必要性を考えた後、修学旅行をふりかえった子どもの発言である。

修学旅行に行ってみて、お金を計画的に使うことの大切さが分かりました。計画表どおりにはいかなかったんだけど、計画表のおかげで、お金を使う見通しが持てて、上手に買い物できました。お父さん、お母さんのおかげで、楽しい修学旅行になりました。また、お金を使うときには計画的に使っていききたいです。
(児童 A)

あらゆるものに囲まれ、物質的に豊かな時代生きる子どもたち。物や金銭の大切さをあまり実感することなく生活することができる。本学級の子どもたちを見てみると、おこづかいの中で、限られた金銭を有効に使おうとする姿もみられるものの、必要なものは必要なときに手に入る環境の子どもが多い。よって、日常的に金銭を計画的に利用するという経験は少ない。しかし、修学旅行での経験は、児童 A のように、計画を立てることで、無駄なく、金銭を目的に応じて有効に使うための見通しが持てることよさや、家族の労働の収入のおかげで金銭を得ているという大切さを実感することができた。しかし、購入の際にどのような視点で商品を選んでいるかといえば、金額や数量が中心で、品質に目を向けることはほとんどない。これまでの学習や経験によって得た計画的に利用するよさや、金額や数量に着目する視点に、品質などの視点を広げることで、より目的に応じたものを購入することができるようになり、主体的に判断し、行動できる消費者としての第一歩を歩み出して欲しいと願っている。

本学級の子どもたちは、このように、より自分の目的に合った買い物をするために、計画を活用し、工夫する姿が見られる。そこから、さらに自らの生活をよりよくしようと課題を見いだしながら、追求していくような姿を大切にしていきたいと考えている。

(2) 本題材では、調理実習の食材の購入をとおして、ものを購入する際にどのような視点で検討し、選べばよいかを学習していく。購入の際には、価格や数量に限らず、品質などの情報も適切に集め、商品購入の際の判断材料する必要がある。修学旅行に限らず、購入の際にどのような視点で商品を選んでいるか聞いてみると、26名中全児童が値段であり、その商品の品質など多角的な視点で物を選択する習慣はほとんどない。ものが溢れ、購入方法が多様化している現代だからこそ、消費者として、商品を適切に選択し、購入する能力がより一層求められている。よって、調理実習に必要な材料を購入する際にどのような物を買えばよいか、商品の情報をもとに子どもたちがよりよい買い物をするための視点を広げ、買い物の工夫の工夫を考え深めることをねらいとし、日常生活に活用する力や態度を養いたい。また、値段だけでなく、品質を含め、様々な情報の中から目的に応じた商品を購入することが、金銭を有効に活用することにつながることから、ものや金銭の大切さを感じさせていきたい。そのために、以下の点に留意しながら題材を構成していく。

① 実際に金銭を利用する場面とリンクさせながら、題材を構成する。

日常生活への実践につなげるためにも、実際に金銭を利用する場面とリンクさせて、単元の構成を行

う。1 つめの場面は、修学旅行である。本校の修学旅行では、昼食や入場料、お土産など金銭を支払う場面が多く、限られたおこづかいの中で計画的に活用する必要がある。よって、修学旅行の経験から、計画的に物を購入するよさを実感したり、計画的な使い方を考えたり、工夫したりできる場面と考える。加えて、遊園地でのミールクーポンの利用は、現金以外で支払う方法を体験するいい機会であり、金銭と同等の価値があり、使い方への配慮を考慮することができる。

また、子どもたちに日常生活での金銭の利用の場面を聞いてみると、“おつかい”の場面が一番多い。よって、2 つ目の場面として、調理実習の食材の購入を設定した。調理実習の食材の購入は、日常生活においても“おつかい”とつながる場面であり、このような実践をとおして、より日常生活を意識することができるようにしたい。

② 調理実習の食材の購入をとおして、課題を見だし、商品の購入の際の多角的な視点で購入する必要性について考えを出し合う場面を設定する。

まず、1 回目の購入で、子どもたちに普段のおつかいのように買い物をさせる。そこで、商品のどんな情報を見て購入したかふりかえる。そこから、商品の情報をほとんど見ずに購入している現実を把握させ、課題を見いだせるようにする。そして、商品を改めて見ることで、様々な情報が記されていることや、購入の際に重要である情報を話し合うことで、値段だけでなく、様々な情報を得ることで、より目的に応じた適切な商品選択、購入についての考えを深めさせるようにし、2 回目の購入で、1 回目より多角的な視点で購入できるようにしていきたい。また、話し合いの際には、商品選択の視点を明確にするために、カード化して示し、意見や考えを整理していく手立てとしたい。

(3) このように、題材のもつ性質と本学級の児童の実態を踏まえた上で、上手な買い物の仕方の工夫を目指して、以下のように視点で学び合いを展開していく。

第1次では、これまでの日常生活における買い物の経験や、修学旅行での経験ふりかえる。まず、家族が働くことで得たお金で必要なものが買え、修学旅行にも行くことができることから、限りある金銭の大切さに気づかせ、有効に使うことの必要性を実感させていきたい。日常生活において、計画的に買い物をする必要がない、あるいは計画を立てた経験がない子どもがほとんどであることから、修学旅行でおこづかいの使い方の計画を立て、買い物をしたことをふりかえりながら、実際に計画どおりに買い物ができなくても、計画を立てることで見通しが持て、より目的に応じた買い物ができるよさに気づかせていく。また、金銭以外の買い物についても、遊園地でのミールクーポンの利用をとおして、金銭と同様に扱われ、配慮する必要があることをふりかえることで、実感としてつかめるようにする。

第2次では、上手な買い物の仕方について、調理実習の食材の買い物から考えていく。まず、調理実習に必要な食材を1品、買い物に行く。朝食のポイントとして、『早く作れて、おいしくて、手頃な値段でできて、栄養（量と質）が満たされているもの』が考えられる。よって、買い物では、手頃な値段で、数量が確保できるものが対象になる。その商品を買った後に、商品の何に着目して購入したかふりかえる。限定的な視点でのみ商品を買っている現状を見つめ直し、どのような視点をもって商品を選び、買い物をしたらよいか学級で話し合い、買い物の仕方の工夫を考えたり、深めたりしていく。また、各家庭での購入の視点を調べることで、家族がどのような視点で購入しているか改めて認識し、視点を広げる手がかりとしたい。そして、2 回目の購入や日常生活への実践につなげていきたいと考える。

本時は、1 回目の購入を終え、どのような視点で商品を選んだかふりかえた後の、上手な買い物の仕方を考え深める場面である。現在の子どもの実態では、値段や数量が主で、その他の情報はほとんど見ていないと考えられる。そこで、子どもたちが着目した視点のみで、その他の情報を隠して商品を提示する。そうすると、自分たちの商品選択の課題が浮かび上がり、本当にそれだけの情報で商品を選択してもよいのかという疑問が生まれる。それを話し合いの視点として、商品にはどのような情報が記されているか、改めて見てみる。そうすることで、よりよい買い物をするための視点が広がる。さらに、実際に買い物をする時には何が重要か、自分ならば、何を重要とするか、理由を挙げながら話し合うことで、商品選択について、考えを深めさせていく。これらの活動をとおして、子どもたちに限定的な視点に限らず、多角的な視点で商品選択を行い、よりよい買い物の仕方の工夫について考えを深めさ

せていきたいと考えている。

3 展開計画（全6時間 本時4／6）

次	主な学習	時	具体的な学習・内容（◇印は、学級全体の学び合いの場面）
	（修学旅行のおこづかい計画を立てよう）※家庭科外		<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行のおこづかいの使い方の計画を立てる。 ・修学旅行のおこづかいの使い方をふりかえり、ガイドブックを作る。
1	お金の使い方を考えよう	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の大切さや、物を買うときには情報を集め、計画的に購入することの必要性を話し合う。 ・様々な購入方法や支払い方法について知る。
	（生活を見直そう）		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の生活を中心に生活を見つめ直し、生活時間を有効に活用する工夫を考える。 ・朝食にあうおかずを考え、調理実習の計画を立てる。 ・調理実習の食材の買い出しに行く。
2	上手な買い物の仕方を考えよう	3 ④	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習で用いる食材の購入にあたって、どのように食材を選んで購入したかふりかえるとともに、家庭で食材を購入する際の選択の視点を聞き取り調査をする。 <p>◇ふりかえりをもとに、食材を選んで購入する視点はこのままでよいか、改善が必要か、学級全体で話し合い、買い物の工夫の工夫を考える。</p>
	（朝食にあうおかずを作ろう）		<ul style="list-style-type: none"> ・朝食にあうおかずを作る。 ・調理方法や献立の改善点を話し合い、計画を立てる
3	上手な買い物の仕方を考えよう	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の買い出しを行い、前回の食材の購入の視点との違いや変化をまとめる。

4. 「学び合い」による思考力・判断力・表現力の評価

時	学習活動	学習活動における具体的な評価規準	評価資料	評価基準		
				A	B	C
4	出し合った視点をもとに、実際に購入する際にはどのような視点を大切にしながら、どのようなものを選ぶか買い物の工夫の工夫を考え、深める。	調理実習に必要な食材の買い物の際に、食材を買うための情報を集め、整理し、どのようなものを選ぶかよりよい買い物の工夫ができる。	ワークシート 発表	賞味期限や食品マークなどおし、品質表示についての情報をとらえ、その視点をふまえて食材の選択を行い、買い物の工夫をすることができる。	賞味期限など品質表示について、1つの視点と値段、数量で食材の選択を行い、買い物の工夫をすることができる。	値段と数量のみで食材の選択を行い、買い物の工夫をすることができない。

5 本時の学習

(1) ねらい

調理実習に必要な食材を購入するために必要な情報を見つけ、どのような視点を大切にしながらどのような物を選べばよいか、買い物の仕方話し合いながら考えることができる。

(2) 展開

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価
<p>1. 調理実習の食材の買い出しをふりかえり、どのような視点で購入したか出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段の安さ ・商品名、メーカー（ブランド） ・賞味期限 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが挙げた情報だけの商品を示し、それだけで選んで購入してもよいかどうか投げかけ、課題意識を持たせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">食品を購入する時には、この情報だけで購入してもよいだろうか。</div>	
<p>2. これらの情報の必要性や、その他の必要な情報はないか、その理由を出し合い、買い物の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金には限りがあり、値段が一番重要だ。 ・CMなどでよく見る会社のものはきっと安全なものを作っているとおもうので、チェックする必要がある。 ・どこで生産されたか、どのようなものを使って作られているか、品質表示をきちんと確認しなければいけない。 ・マークを確認することで、安全な作り方をしているか分かる。 <p>3. 次回の購入で大切にしたい視点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段はやはり重要だけど、安全な商品を選ぶことが大切だと思ったので、品質表示をもっとよく見て買いたいと思った。 ・値段や数量が大切だと思っていたけど、賞味期限や環境にやさしいかどうかという視点でもものを買いたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題から商品選択の視点が広がるように限定的な視点の情報のみの商品と、多くの情報が記されている商品を提示し比較する。また、その視点が明確になるようにキーワードをカード化して提示する。 ◎個々の考えた理由を出し合うことで、購入の際の視点が広がったり、その理由について話し合うことで視点が深まったりすることができるようにする。意見がかたよった場合には、教師から子どもたちの考えをゆさぶる情報を示しながら、話し合いがより充実していくようにはたらきかける。 ◎実際の商品購入に向けて、子どもの価値観も大切にしながら、多角的な視点で商品を選ぶように、これまで出た意見の良さをふまえ、自分の考えを深め、買い物の工夫につながるようにしていく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">評価の観点（生活を創意工夫する能力） 物を購入する際の視点を広げたり、深めたりすることができる。【ワークシート、発表】</div>	
<p>4. ふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、値段にばかり目がいていたけど、賞味期限や品質表示なども確認しながら買い物をしようと思った。 ・品質表示は見て買うようにしていたけど、産地や賞味期限だけでなく、材料やマークなどももっと確認して買い物をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりの視点として、ものを購入する際にいろいろな情報を得ながら、自分の目的に合ったものかどうか総合的に判断して買い物をするよさや必要性に着目できるようにしていく。